

マグネット チューブ

再使用禁止

【警告】

＜使用方法＞

強磁性体の影響を受ける可能性があると思われる場合（例：ペー
スメーカーを使用している患者等）は、安全性を確認してから使用す
ること。【本品の影響の有無が確認されていないため】

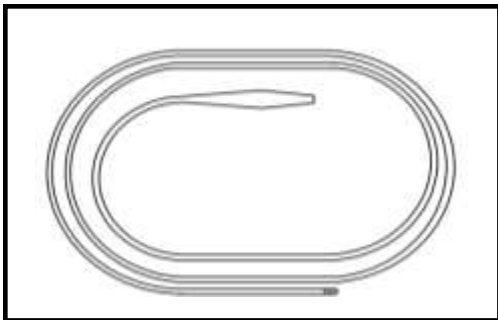
【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- 1.再使用禁止
- 2.再滅菌禁止
- 3.スタイレットやガイドワイヤ（以下「スタイレット等」という。）の使用等、本添付文書に記載されていない挿入・留置方法は行わないこと。【スタイレット等は弾力があり外径が小さいため気管に誤挿入する危険性が高い。さらに、側孔からスタイレット等の先端が飛び出し、胃、腸等の消化管壁を損傷させるなどのおそれがある。】

※4.本品はMR Unsafeであり、MR検査は禁忌とする。

【形状・構造及び原理等】



本品は先端に磁石が埋め込まれた単腔型のチューブで、X線透過下でチューブの位置が確認できるX線不透過線と側孔が付いており、先端30cmから80cmの位置まで10cm間隔で目盛がある。先端部の磁石により金属性の異物を吸着、保存的に摘出する。本品を用いて胃又は食道内の内容物の吸引、排液、排気や洗浄等を行う際は、X線不透過線の中絶位置で側孔の位置を確認する。

＜原材料＞

チューブ：ポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））

【使用目的又は効果】

経鼻又は経口的に、胃又は食道内に挿入留置し、異物除去、吸引、排液、排気又は洗浄等に用いる。

【使用方法等】

- 1.患者を左側臥位にして異物が腸内に移動するのを防ぐ。
- 2.レントゲンで異物の位置を確認する。
- 3.患者の状況により必要な場合はバイトブロックをかませ、中央の穴から本品を挿入する。
- 4.X線不透過線で本品の位置を確認しながら挿入する。
＜注意＞チューブの挿入に際し、誤って気管に挿入しないこと。
- 5.本品の操作と体位交換で異物を磁石に吸着させる。
（異物が吸着しない場合）
 - ①接続チューブ（当該申請対象外）を介し吸引源、もしくはシリンジ（当該申請対象外）を接続する。必要に応じて本品の接続部を切断し、接続先の径と合わせる。
 - ②X線透視下で側孔の位置を確認し、胃又は食道内の内容物の吸引、排液や排気、又は洗浄等を行う。
- 6.異物が吸着したら本品を引き抜く。患者を伸展位にすると食道の生理的狭窄部でもチューブを容易に通過させることができる。

使用方法に関連する使用上の注意

- 1.気管壁の損傷ならびに気管・肺への誤挿入及び誤留置に注意すること。チューブ挿入時に抵抗が感じられる場合又は患者が咳き込む場合は、肺への誤挿入のおそれがあるため無理に挿入せず、一旦抜いてから挿入すること。【肺の気管損傷又は肺への栄養剤等の注入により、肺機能障害を引き起こすおそれがある。】
- 2.チューブ挿入時及び留置中においては、チューブの先端が正しい位置に到達していることをエックス線撮影、胃液の吸引、気泡音の聴取又はチューブマーキング位置の確認など複数の方法により確認すること。
- 3.抜いたチューブは再使用しないこと。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 栄養投与の前後は、必ず微温湯によりフラッシュ操作を行うこと。【栄養剤等の残渣の蓄積によるチューブ詰まりを未然に防ぐ必要がある。】
 - チューブを介しての散剤等（特に添加剤として結合剤等を含む薬剤）の投与は、チューブ詰まりのおそれがあるので注意すること。
 - 栄養剤等の投与又は微温湯などによるフラッシュ操作の際、操作中に抵抗が感じられる場合は操作を中止すること。【チューブ内腔が閉塞している可能性があり、チューブ内腔の閉塞を解消せずに操作を継続した場合、チューブ内圧が過剰に上昇し、チューブが破損又は断裂するおそれがある。】
 - チューブ詰まりを解消するための操作を行う際は、次のことに注意すること。なお、あらかじめチューブの破損又は断裂などのおそれがあると判断されるチューブが閉塞した場合は、当該操作は行わず、チューブを抜去すること。
- 1.注入器等は容量が大きいサイズ（20mL以上を推奨する）を使用すること。【容量が20mLより小さな注入器では注入圧が高くなり、チューブの破損又は断裂の可能性が高くなる。】
 2. スタイレット等を使用しないこと。
 - 3.当該操作を行ってもチューブ詰まりが解消されない場合は、チューブを抜去すること。
- 使用中に本品に使用されているポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出するおそれがある。

※相互作用

「併用禁忌(併用しないこと)」

●磁気共鳴画像診断装置(MRI 装置)

【保管方法及び使用期間等】

1.保管の条件

室温下で、水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

2.有効期間

包装上に記載(自己認証(当社データ)による)。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

※製造販売業者

※カーディナルヘルス株式会社

カスタマーサポートセンター:0120-917-205